



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 庸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小城 和紀 TEL 03-6810-0800  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	68,306	6.2	429	△75.7	337	△80.3	356	△57.3
2020年3月期第1四半期	64,316	8.5	1,770	253.1	1,710	329.7	833	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 361百万円 (△57.0%) 2020年3月期第1四半期 841百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.88	—
2020年3月期第1四半期	27.81	—

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	199,280	47,059	23.6
2020年3月期	185,551	47,072	25.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 47,059百万円 2020年3月期 47,072百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお2021年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,895	6.6	361	△91.1	249	△93.8	△51	—	△1.70
通期	291,813	8.7	6,504	△14.3	6,266	△15.4	3,122	△53.4	104.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	32,048,000株	2020年3月期	32,048,000株
2021年3月期1Q	2,060,874株	2020年3月期	2,060,834株
2021年3月期1Q	29,987,132株	2020年3月期1Q	29,987,597株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料については、TDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月～2020年6月)において、4月に調剤報酬改定と薬価改定が行われました。調剤報酬改定では、かかりつけ機能の評価、対物業務から対人業務への構造的な転換、在宅医療の推進、ICTの活用、ジェネリック医薬品の使用推進、残薬への対応の推進など、今後の薬局に求められる役割が明確に示されました。

2020年9月より「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」(改正薬機法)の段階的な施行が予定されており、薬剤師による継続的な薬剤使用状況の把握・服薬指導義務の法制化、テレビ電話等による服薬指導の導入などが実施される見通しです。

また、当期間において新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応として緊急事態宣言が発出されました。これにより、多くの医療機関では受診抑制の動きがあり、薬局における処方箋受け付け枚数が減少しました。足元の状況では緊急事態宣言の解除後、処方箋受け付け枚数は緩やかに回復に向かっております。

このように、医療・医薬品業界を取り巻く環境が急速にかつ大きく変化するなか、当社グループでは、医療費の増加抑制、良質な医療サービスの提供に向けた取り組みを全社を挙げて着実に進めております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高68,306百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益429百万円(同75.7%減)、経常利益337百万円(同80.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益356百万円(同57.3%減)となりました。今後も当社グループは、患者さまや各種ステークホルダーの皆さま、従業員に対しても感染症予防対策を継続しつつ、医療提供体制の維持に努めてまいります。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

#### ①調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は58,200百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は464百万円(同74.8%減)となりました。同期間に9店舗を新規出店、1店舗を閉店した結果、6月末時点での総店舗数は658店舗(物販店舗1店舗を含む)となりました。売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による処方箋枚数の減少があった一方で、長期処方増加による処方箋単価の大幅な上昇や前期に出店した65店舗の寄与もあり増収となりました。営業利益につきましては、処方箋枚数の減少による売上総利益の減少、長期処方に備えた十分な医薬品在庫の確保に伴う消費税等の増加により減益となりました。なお、ジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、6月末時点で全社平均89%を超えており、全国平均の80.3%(厚生労働省:調剤医療費の動向2020年2月数値)を超える水準で推移しております。また、在宅医療実施店舗の割合は6月末時点で全社平均87%(年間12件以上実施の店舗割合、新規店舗を含む)と順調に推移しております。

#### ②医薬品製造販売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は12,073百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は833百万円(同4.4%増)となりました。売上高につきましては、4月の薬価改定に伴う既存製品の販売価格の下落があった一方、新製品の好調な販売により増収を実現することができました。営業利益につきましては、収益性を重視した販売方針、2019年12月と2020年6月の大型新製品の好調な販売などにより増益となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末での販売品目数は、6月に新規収載品16品目を発売したことなどにより696品目(一般用医薬品2品目を含む)となっております。

#### ③医療従事者派遣・紹介事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,943百万円(前年同期比18.2%減)、営業利益は509百万円(同21.9%減)となりました。売上高につきましては、人材市場の需要変化を捉え、薬剤師の派遣から紹介へのシフトを進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による一層の派遣抑制の影響を受け減収となりました。営業利益につきましては、薬剤師の派遣事業減少の影響が大きく減益となりました。一方、医師の紹介事業は着実に拡大しており、薬剤師の紹介事業も堅調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は199,280百万円となり、前連結会計年度末の185,551百万円に対し、13,728百万円、7.4%増加いたしました。主に、現金及び預金、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は152,220百万円となり、前連結会計年度末の138,478百万円に対し、13,742百万円、9.9%増加いたしました。主に、買掛金、長期借入金の増加によるものです。

純資産合計は47,059百万円となり、前連結会計年度末の47,072百万円に対し、13百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は23.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月30日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外来診療の抑制や処方日数の長期化等の影響が2020年6月まで続くと想定し作成しております。今後新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化、深刻化した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。第2四半期(累計)及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,254	41,900
受取手形	181	66
売掛金	20,587	20,077
電子記録債権	1,080	821
商品及び製品	22,988	28,056
仕掛品	1,541	1,431
原材料及び貯蔵品	5,431	5,718
その他	3,354	3,714
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	87,414	101,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,922	30,245
土地	14,653	14,411
建設仮勘定	967	979
その他（純額）	19,538	19,416
有形固定資産合計	66,082	65,052
無形固定資産		
のれん	16,994	17,302
その他	2,431	2,352
無形固定資産合計	19,425	19,654
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	7,765	7,754
その他	4,846	5,022
投資その他の資産合計	12,628	12,793
固定資産合計	98,137	97,499
資産合計	185,551	199,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	42,659	53,062
電子記録債務	3,131	4,077
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	9,406	6,879
未払法人税等	4,132	501
賞与引当金	3,318	1,800
役員賞与引当金	76	—
その他	7,284	10,748
流動負債合計	70,107	77,071
固定負債		
長期借入金	62,963	70,108
役員退職慰労引当金	474	176
退職給付に係る負債	1,957	2,004
その他	2,974	2,861
固定負債合計	68,370	75,149
負債合計	138,478	152,220
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	35,762	35,744
自己株式	△3,499	△3,499
株主資本合計	47,143	47,124
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△70	△64
その他の包括利益累計額合計	△70	△64
純資産合計	47,072	47,059
負債純資産合計	185,551	199,280

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)
売上高	64,316	68,306
売上原価	53,169	57,343
売上総利益	11,147	10,962
販売費及び一般管理費	9,377	10,533
営業利益	1,770	429
営業外収益		
受取手数料	10	8
受取賃貸料	105	110
受取補償金	48	—
その他	39	39
営業外収益合計	203	157
営業外費用		
支払利息	103	83
支払手数料	3	0
支払賃借料	93	83
その他	62	82
営業外費用合計	263	249
経常利益	1,710	337
特別利益		
固定資産売却益	27	373
特別利益合計	27	373
特別損失		
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	1,738	709
法人税、住民税及び事業税	1,324	585
法人税等調整額	△420	△232
法人税等合計	903	353
四半期純利益	834	356
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	833	356



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)
四半期純利益	834	356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
退職給付に係る調整額	6	5
その他の包括利益合計	6	5
四半期包括利益	841	361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	840	361
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	54,811	5,926	3,578	64,316	—	64,316
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	4,955	18	4,976	△4,976	—
計	54,814	10,881	3,597	69,293	△4,976	64,316
セグメント利益又は損失(△)	1,843	798	651	3,293	△1,523	1,770

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,523百万円にはセグメント間取引消去△89百万円及び全社費用△1,434百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	58,200	7,195	2,910	68,306	—	68,306
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,878	32	4,911	△4,911	—
計	58,200	12,073	2,943	73,217	△4,911	68,306
セグメント利益又は損失(△)	464	833	509	1,807	△1,377	429

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,377百万円にはセグメント間取引消去△84百万円及び全社費用△1,293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。